

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00410)

事務事業名称	水辺環境の整備				款	05	項	03	目	03	事業	002	整理番号	420	
現担当課名	土木計画課		係名	施設整備グループ		連絡先電話番号	3425		昨年度整理番号	419					
上位施策No・施策名	08 水とみどりのネットワークの形成								予算事業区分	投資事業					
事業開始	平成13年度	実行計画事業	目標	03	施策	08	計画事業	01							
令和 2年度担当課名	土木計画課								事業評価区分	一般					

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区内3河川(神田川・善福寺川・妙正寺川)の流域住民・一般利用者	根拠法令等	(1) 河川法 (2) 特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例第2条表78
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	河川を健全な状態に保つよう、河川管理施設の調査・補修等を適切に行い、区民が安心して暮らせる治水安全性を確保する。 自然環境に配慮した河川維持管理や、住民等との連携意識啓発を進め、潤いと安らぎのある水辺環境の再生・創出を図る。	活動指標	水鳥一斉調査(20年度からの累計)
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	老朽化した河川管理施設(護岸・河床・河川管理用通路等)の点検調査や補修工事を行う。 善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業行動方針に沿い、区民参加型の啓発イベントの実施、環境活動の支援などを行う。 都施行の河川事業に際して協議・調整を行い、自然環境や景観に配慮した整備を連携して進める。	指標説明	善福寺川に関する普及啓発活動(20年度からの累計)
		成果指標	みどりや水(河川等)とのふれあいを実感している区民の割合
		指標説明	区民意向調査による

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率(%)	
活動指標(1)	1 回	11	12	12	13	13	14	100.0	93.1	
活動指標(2)	2 回	11	12	12	13	13	14	100.0		
成果指標(1)	3 %	74.7	80	76.0	80	75.9	80	94.9		
成果指標(2)	4									
事業費	5 千円	6,986	33,425	30,629	3,851	3,586	3,658	特記事項		
(内)投資的経費等	6 千円	6,986	33,425	30,629	3,851	3,586	3,658			
(内)委託費	7 千円	6,518	32,858	30,190	3,333	3,097	3,141			
職員数	常勤職員数(再任用含)	8 人	1.91	1.54	1.64	1.54	1.74	1.44		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分(再任用含)	10 千円	16,094	11,579	12,778	13,426	14,795	12,244		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費(5+10+11)	12 千円	23,080	45,004	43,407	17,277	18,381	15,902			
単位当たりコスト(12÷1)	13 円	2,098,182	3,750,333	3,617,250	1,329,000	1,413,923	1,135,857			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計(14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源(12-18)	19 千円	23,080	45,004	43,407	17,277	18,381	15,902			
受益者負担比率(14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 420

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	善福寺川護岸等空洞調査委託	1	件	2,300
	水鳥の棲む水辺創出事業支援業務委託	1	件	490
	水鳥一斉調査謝礼金の支出	11	人	143
	「善福寺川水鳥一斉調査」調査シート作成委託	1	件	500
	その他（保険料、事務費ほか）			153
事業実績	<p>令和2年度に緊急補修工事を施工した善福寺川大松橋上流左岸護岸部等の空洞調査を行いました。善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出関連では、水鳥一斉調査を実施しました。また、区が支援している善福寺川をテーマとする区民活動「善福寺川発見」の中で、区のこれまでの事業の取組などのパネル展示を行い事業の周知を図りました。</p>			

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>区内河川は、法や都条例に基づき区が維持管理を担っています。昭和50年代までに都の第一次河川整備が完了、平成17年の大水害で、都の第二次河川整備が本格化、治水安全性の確保とともに地域と協働による河川環境向上に努めた川づくりを基本理念とした神田川流域河川整備計画が策定され、善福寺川でも武蔵野橋付近に親水護岸が整備されました。区は、平成20年から善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業により区民とともに水辺環境づくりに取り組んでいます。</p> <p>河川に対しては、治水対策への要望が多く寄せられている一方で、水とみどりの空間は区民に潤いや安らぎを与え、多様な動植物の生息、生育、繁殖環境を形成するものとして区民のニーズは変化しており積極的に水辺環境の創出に関わっていきたいとする区民意識も高まっています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>水辺は、貴重な水とみどりの空間として区民に潤いや安らぎを与えるとともに、まちの景観形成や余暇の有効活用において貴重な役割を果たしています。今後も水辺に対する区民の関心を高めるため、区民と行政との協働で取り組む啓発活動に取り組んでいきます。</p> <p>また、河川管理施設については、治水安全性や施設等の安全確保のため、必要な現状調査や補修を行うなど、適切な維持管理に取り組んでいきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業行動指針に沿って、区民参加型のイベントの開催や環境活動の支援など啓発活動を毎年実施しています。また、河川管理施設（護岸や管理通路等）の調査、補修を適宜行い、安全で快適な河川環境を確保しています。</p>
評価と課題	<p>水鳥一斉調査は、第1回目は参加小学校1校、12名という少人数で始まった調査でしたが、回を重ねるごとに参加校と参加者を増やしています。令和2年度は、新型コロナの影響もあり規模を縮小して開催しましたが、最近では、参加小学校15校300名を超える方々が参加しています。参加をきっかけにして、子どもたちが水辺環境について関心を高め、一般区民の方々にも広めていくことが重要であり、区ホームページや関連イベントなどで調査内容等に関して広く周知するなど、効果的な情報発信に取り組んでいます。一斉調査については、増加する参加者に対応するため、解説員の一層の確保を図る必要があります。また、河川管理施設の適切な管理、都施行の河川事業に際して協議・調整を行い、自然環境や景観に配慮した整備を連携して進めていきます。</p>

令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>水辺環境の整備については、水鳥一斉調査などにより、水辺環境への関心を高め意識啓発を図るとともに、東京都をはじめとした関係機関との連携により、引き続き自然環境や景観に配慮した整備を連携して進めていきます。また、河川管理施設（護岸や通路等）の安全確保のため、必要な現状調査や補修を行うなど、適切な維持管理に取り組んでいきます。</p> <p>これを踏まえ、4年度は引き続き水鳥一斉調査などの啓発イベントの実施、また、河川施設の適切な維持管理のため調査・検討を行います。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00423)

事務事業名称	公園の維持管理	款	05	項	04	目	01	事業	001	整理番号	433
現担当課名	みどり公園課	係名	公園整備係				連絡先電話番号	3583		昨年度整理番号	432
上位施策No・施策名	08 水とみどりのネットワークの形成						予算事業区分	既定事業			
事業開始											
令和 2年度担当課名	みどり公園課						事業評価区分	施設維持管理			

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区立公園 330 園 公園利用者	根拠法令等	(1) 都市公園法 (2) 杉並区立公園条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民が安全で快適に利用できる公園にする。	活動指標	区立公園管理面積
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	区民要望件数
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	施設の保守点検・補修、園地清掃、樹木管理等の公園維持管理を行う。	成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 m ²	649,661	655,534	649,661	658,116	657,491	666,610	99.9	95.2	
活動指標 (2)	2 件	794	0	1,045	880	1,393	900	158.3		
成果指標 (1)	3									
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	1,046,732	1,135,004	1,113,860	1,244,104	1,184,428	1,222,224	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	40,137	36,615	32,533	31,791	24,686	27,949			
(内) 委託費	7 千円	950,371	1,037,876	1,019,660	1,145,320	1,100,209	1,125,431			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	35.12	29.33	29.57	31.30	32.44	25.50		
	上記以外の職員	9 人	20.04	17.21	3.00	0.20	26.50	36.10		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	212,887	182,345	190,609	192,693	208,971	165,778		
	上記以外の職員	11 千円	61,904	53,162	9,240	616	96,142	130,971		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	1,321,523	1,370,511	1,313,709	1,437,413	1,489,541	1,518,973			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	1,972	2,035	1,972	2,136	2,228	2,237			
財源	受益者負担分	14 千円	20,995	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	20,995	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	1,300,528	1,370,511	1,313,709	1,437,413	1,489,541	1,518,973			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 433

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	園地清掃業務委託		298	園
	樹木、花壇、除草等管理委託	330	園	236,685
	大規模公園等の管理運営委託	29	園	235,920
	公園の補修	14	園	83,158
	その他（その他の園地維持管理費ほか）			398,178
事業実績	遊具等の公園施設の塗装を行うことで施設本体の腐食を防止するとともに公園施設の美観向上を図りました。また、耐用年数を経過した園灯灯具の交換や老朽化した園灯の建て替えを行いました。公園利用者が安全で快適に利用していただけるよう定期的な清掃を行ったほか、委託業者による夜間警備パトロールを実施しました。			

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	近年、子どもからお年寄りまで幅広い世代が公園を利用するようになっていきます。老朽化が進む遊具の更新をはじめ、多世代が安心して安全に利用できるよう公園施設の適正な維持管理に努めていきます。

令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	公園の利用状況等を踏まえ、適切な公園施設等の維持管理を行っていきます。	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00425)

事務事業名称	遊び場の維持管理			款	05	項	04	目	01	事業	002	整理番号	434
現担当課名	みどり公園課		係名	公園整備係			連絡先電話番号	3583		昨年度整理番号	433		
上位施策No・施策名	08 水とみどりのネットワークの形成							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和46年度												
令和 2年度担当課名	みどり公園課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区立遊び場 (18箇所) 遊び場利用者	根拠法令等 (1) (2)	杉並区遊び場等の設置及び管理に関する要綱 先行取得用地の活用と管理について
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民が安全で快適に利用できる遊び場にする。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	遊び場管理面積 区民要望件数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	公園の先行取得用地や他の公共団体、地主の好意による提供用地を活用した遊び場の整備を行う。 施設の保守点検・補修、園地清掃、樹木管理等の遊び場維持管理を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1	m ²	44,793	45,388	46,061	52,027	42,028	39,609	80.8	87.8
活動指標 (2)	2	件	37	0	66	50	74	50	148.0	
成果指標 (1)	3									
成果指標 (2)	4									
事業費	5	千円	50,469	62,680	58,131	82,935	72,832	57,311	特記事項	
(内) 投資的経費等	6	千円	1,751	7,345	7,006	22,700	20,902	796	予算執行率 (87.8%) については、遊び場の廃止による規模縮小等によるものです。	
(内) 委託費	7	千円	46,328	60,576	56,564	80,790	71,153	55,293		
職員数	8	人	3.48	2.78	2.75	3.45	3.54	2.45		
上記以外の職員	9	人	0.00	0.58	0.00	0.20	0.20	1.00		
人件費	10	千円	27,326	22,307	22,920	26,068	27,045	18,676		
上記以外の職員	11	千円	0	1,792	0	616	726	3,628		
総事業費 (5+10+11)	12	千円	77,795	86,779	81,051	109,619	100,603	79,615		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13	円	1,698	1,750	1,608	1,671	1,896	1,990		
財源	14	千円	0	0	0	0	0	0		
受益者負担分	15	千円	0	0	0	0	0	0		
国からの補助金等	16	千円	0	0	0	0	0	0		
都からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (14+15+16+17)	19	千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	20	千円	77,795	86,779	81,051	109,619	100,603	79,615		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 434

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	(仮称)荻外荘公園（遊び場108番）の清掃、除草、管理委託等		1	所
	遊び場110番の清掃、除草、管理委託等	1	所	927
	他の遊び場の樹木管理、除草等	15	所	8,318
	遊び場118番の新設	6,437	m ²	20,203
	その他（他の遊び場の清掃業務、管理運営費、維持補修費ほか）			22,515
事業実績	令和元年度に取得した馬橋公園の拡張用地については、整備工事に着手するまでの間、オープンスペースとして利用していくため、広場として整備し遊び場118番（6,437.22m ² ）として開放しました。			

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	市街化が進む区内においては、新たに公園用地として土地を取得することが難しい状況となっていることから、遊び場は区立公園が不足している地域の補完的役割を担っており、貴重なオープンスペースとして有効利用しています。今後も地域の補完的役割を担っている遊び場の有効利用を図るとともに、遊び場利用者が安全で快適に利用していただけるよう適切な維持管理に努めていきます。

令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	遊び場の利用状況等を踏まえ、適切な維持管理を行っていきます。	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00426)

事務事業名称	公園等の整備					款 05 項 04 目 01 事業 003	整理番号	435	
現担当課名	みどり公園課	係名	公園整備係			連絡先電話番号	3583	昨年度整理番号	434
上位施策No・施策名	08 水とみどりのネットワークの形成					予算事業区分	投資事業		
事業開始	平成24年度	実行計画事業	目標 03	施策 08	計画事業 07	09	10	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)	
令和 2年度担当課名	みどり公園課					事業評価区分	一般		

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区立公園 公園利用者	根拠法令等 (1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	公園の整備により、区民がみどりの中で憩い、ふれあうことができる。また、地域の防災性が向上して区民が安全・安心に生活できる。	活動指標 指標名 (1) 当該年度に新設、拡張整備した公園数 指標説明 指標名 (2) 当該年度に整備した公園面積
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	公園の新設及び拡張整備を行う。 区民一人当たりの都・区立公園面積5㎡を目標に公園を整備する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 区民一人当たりの都区立公園面積 指標説明 公園・緑地等面積 ÷ 人口 指標名 (2) 区立公園の面積 指標説明

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 園	3	1	1	5	5	2	100.0	98.8	
活動指標 (2)	2 ㎡	2,239	5,873	5,873	3,658	3,658	7,182	100.0		
成果指標 (1)	3 ㎡/人	2.07	2.15	2.10	2.15	2.12	2.17	98.6		
成果指標 (2)	4 ㎡	649,661	655,534	649,661	658,116	657,491	664,673	99.9		
事業費	5 千円	646,568	4,167,175	4,122,349	1,066,583	1,054,284	2,525,370	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	520,739	4,057,919	4,019,071	1,066,583	1,054,284	2,525,370			
(内) 委託費	7 千円	165,866	509,435	466,089	182,353	170,533	440,543			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	8.10	7.92	8.59	6.80	7.72	6.70		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	68,251	63,859	71,807	56,329	62,911	56,970		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	363	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	714,819	4,231,034	4,194,156	1,122,912	1,117,558	2,582,340			
単位当たりコスト (12 ÷ 1)	13 円	238,273,000	231,034,000	194,156,000	224,582,400	223,511,600	291,170,000			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	22,900	1,273,870	1,049,791	77,989	60,000	672,417		
	都からの補助金等	16 千円	0	10,494	5,771	109,032	101,396	555,496		
	その他の補助金等	17 千円	0	7,172	2,798	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	22,900	1,291,536	1,058,360	187,021	161,396	1,227,913		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	691,919	2,939,498	3,135,796	935,891	956,162	1,354,427			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 435

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	下井草どかん公園用地取得・整備工事	1	園	257,549
	清水いづみ公園用地取得・実施設計委託・整備工事	1	園	348,091
	荻窪だんだん公園整備工事	1	園	3,919
	（仮称）荻外荘公園基本設計・実施設計委託	1	園	42,807
	その他（（仮称）松庵二丁目公園公園基本・実施設計委託ほか）			401,918
事業実績	<p>下井草どかん公園・清水いづみ公園・荻窪だんだん公園等の整備工事を行いました。</p> <p>また、令和3年度に整備工事を予定している（仮称）松庵二丁目公園については、オープンハウス形式で区民から意見聴取し、基本設計・実施設計を行いました。</p> <p>（仮称）荻外荘公園については、令和元年度に策定した「（仮称）荻外荘公園整備基本計画」に基づき、基本設計を完了し、実施設計に移りました。</p>			

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>防災意識の向上に伴い、オープンスペースの重要性が認識され、防災機能を備えた公園の整備が求められています。</p> <p>また、公園用地の取得に当たっては、多大な費用がかかることから、国や都の補助金を活用しています。</p> <p>平成28年度には、下高井戸おおぞら公園が一部整備されたことで、方南和泉地区についても地区公園が整備されました。これを受け、区内7地域全てに地区公園が整備されました。</p> <p>（仮称）荻外荘公園については、平成28年3月に建物を含めた敷地全体が国の史跡に指定されたことを受け、復原整備に対する区民の期待が高まっています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>敷地の細分化や市街化が進む区内においては、公園用地としてまとまったオープンスペースを確保することが難しい状況となってきています。周辺の公園整備状況を踏まえながら、区内の土地の動向には常に注視し、時期を逸することなく用地の取得を進めていきます。</p> <p>また、公園利用については、子どもから高齢者まで幅広く利用されていることから、多世代に安全・安心して利用していただけるような公園整備を進めていきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>下井草どかん公園・清水いづみ公園・荻窪だんだん公園等の整備工事を行うとともに、阿佐谷けやき公園の整備工事に着手しました。</p> <p>また、馬橋公園の拡張整備については、有識者や地元代表者で構成された「杉並区立馬橋公園拡張整備に関する懇談会」からの専門的・技術的な視点からの助言や住民説明会による意見聴取を踏まえて、区立馬橋公園拡張整備基本計画を策定しました。</p>
評価と課題	<p>公園の整備については、元々生産緑地だった土地を取得して清水いづみ公園として整備を行うなど、土地の有効活用を図りながら着実に公園整備を行いました。また、馬橋公園の拡張整備は、有識者等からの専門的・技術的な助言や住民説明会による意見聴取を行いながら、区民とともに公園づくりを進めました。公園利用については、近年、子どもから高齢者まで幅広く利用されていることを踏まえ、多世代が安心して利用できる公園づくりにも配慮して取り組んでいきます。</p> <p>（仮称）荻外荘公園については、これまで専門家による助言や指導を受けるとともに文化庁との協議を経て基本設計が完了しました。また、大田黒公園などの周辺施設との連携や回遊性を確保し、荻窪の歴史や原風景を顧みながら多くの人が集い、交流する場としての活用について検討していきます。</p>

令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>馬橋公園の拡張整備については、防災備蓄倉庫の新築や一時避難地の拡充など、災害に強いまちづくりに寄与する公園として整備工事に着手します。</p> <p>久我山東保育園跡地については、隣接する富士見丘北公園及び遊び場113番と合わせて一体的な公園として整備工事をを行います。</p> <p>（仮称）荻外荘公園については、令和6年度の開園に向けて、復原・整備工事に着手します。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00427)

事務事業名称	公園のリニューアル				款 05	項 04	目 01	事業 004	整理番号	436
現担当課名	みどり公園課		係名	公園整備係		連絡先電話番号	3583		昨年度整理番号	435
上位施策No・施策名	08 水とみどりのネットワークの形成						予算事業区分	投資事業		
事業開始	平成24年度	実行計画事業	目標 03	施策 08	計画事業 11	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)				
令和 2年度担当課名	みどり公園課						事業評価区分	一般		

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区立公園 公園利用者	根拠法令等 (1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	公園のリニューアルにより、多世代が利用できる安全で快適な公園利用を図る。	活動指標 指標名 (1) 全面・部分改修公園数 指標説明 指標名 (2) 公園施設を改修した公園数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	既設公園の全面、または部分改修を行い、魅力ある公園に再整備する。 老朽化した遊具などの施設を改修する。	成果指標 指標名 (1) 「公園や広場」が良いと思っている人の割合 指標説明 区民意向調査による 指標名 (2) 指標説明

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 園	0	0	0	10	10	8	100.0	89.9
活動指標 (2)	2 園	14	44	29	58	39	35	67.2	
成果指標 (1)	3 %	78.9	80	80.2	80	82.1	80	102.6	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	64,227	99,717	79,703	288,538	259,323	243,556	特記事項 予算執行率 (89.9%) については、契約落差 などによるものです。	
(内) 投資的経費等	6 千円	64,227	87,646	79,703	288,538	259,323	243,556		
(内) 委託費	7 千円	64,125	86,726	79,108	281,878	226,613	243,456		
職員数	8 人	3.26	3.30	3.78	3.40	3.81	3.20		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	27,469	27,008	32,110	28,375	30,240	26,491		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	91,696	126,725	111,813	316,913	289,563	270,047		
単位当たりコスト (12÷1)	13 円	0	0	0	31,691,300	28,956,300	33,755,875		
財源	14 千円	0	0	0	0	0	0		
受益者負担分	15 千円	0	23,374	12,000	16,499	0	16,499		
国からの補助金等	16 千円	0	5,080	0	0	0	0		
都からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等	18 千円	0	28,454	12,000	16,499	0	16,499		
特定財源計 (14+15+16+17)	19 千円	91,696	98,271	99,813	300,414	289,563	253,548		
差引：一般財源 (12-18)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
受益者負担比率 (14÷12)									

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（Do）

整理番号 436

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	多世代が利用できる公園づくり公園区改修工事	10	園	89,538
	公園施設長寿命化計画施設改修工事	20	園	52,609
	乳幼児利用のための公園施設改修工事	5	園	51,762
	浜田山公園球戯場改修工事	1	園	29,590
	その他（設計委託・消耗品購入ほか）			35,824
事業実績	<p>「杉並区多世代が利用できる公園基本方針」に基づき、和泉二丁目公園を中心とした10公園について改修工事を行うとともに、令和3年度に改修工事を予定している三谷公園を中心とした10公園のワークショップを開催したほか、「杉並区公園施設長寿命化計画」に基づき、20公園で公園遊具の改修工事を行いました。</p> <p>また、乳幼児が利用できる遊具の設置及び改修を5公園で行ったほか、老朽化した浜田山公園の球戯場改修工事を行いました。</p>			

令和 2年度 評価と課題（Check）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>現在300を越える区立公園のうち、約3分の1が1970年代に開園しており、球戯場や木製遊具などの公園施設が老朽化してきています。また、公園周辺の宅地化が進み、球戯場などの騒音対策などの必要性が高まっています。</p> <p>公園利用については、近年、公園利用者の対象が子どもからお年寄りまで幅広くなってきていることから、幅広い世代が利用できる遊具や施設を望む声が増えてきています。</p> <p>球戯場については、騒音問題など利用面における課題もありますが、利用者からは施設の継続を希望する声が寄せられています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>「杉並区多世代が利用できる公園基本方針」に基づき、子どもからお年寄りまで幅広く公園を利用していただけるよう、改修工事を進めていきます。また、改修工事を行う際は、事前に地域の方々からの意見等を収集するためにワークショップを開催します。</p> <p>公園遊具については、「杉並区公園施設長寿命化計画」に基づき、安全で快適に利用していただくため、改修工事を着実に進めていきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>多世代が利用できる公園づくりについては、ワークショップ等による区民等からの意見を参考に、和泉二丁目公園を中心とした10公園において改修工事を行うとともに、令和3年度に予定している三谷公園を中心とした10公園のワークショップを開催し、いただいたご意見を参考に実施設計を行いました。</p> <p>また、公園施設長寿命化については、20公園（40施設）で公園遊具の改修工事を行いました。</p> <p>その他、既存公園の一部に乳幼児が利用できる遊具の設置及び改修を計5公園で行うとともに、老朽化していた浜田山公園の球戯場改修工事を行いました。</p>
評価と課題	<p>多世代が利用できる公園づくりの改修工事においては、区民等の意見を参考にしながら、複数の公園を対象とした機能分担・補完を図ることができました。引き続き、改修工事に当たっては、事前にワークショップを開催するなど、区民等の意見を参考にしながら、子どもからお年寄りまで幅広い世代が利用できる遊具や施設の改修を進めていきます。</p> <p>公園施設の長寿命化については、老朽化した遊具等の更新を進めてきましたが、今後も安心して公園が利用できるよう、計画的に公園施設を改修していきます。</p>

令和 4年度の方針（Action）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>平成30年度に策定した「杉並区多世代が利用できる公園基本方針」に基づき、区民等の意見を参考にしながら、子どもからお年寄りまで幅広い世代が利用できる遊具や施設の改修を進めていきます。</p> <p>また、園庭のない保育園が増加していることから、既存公園の一部に乳幼児が利用できる遊具等の施設を設置し、保育園児にも安心して利用できる公園づくりを進めていきます。</p> <p>公園施設の老朽化については、平成29年度に策定した「杉並区公園施設長寿命化計画」に基づき、遊具等施設の改修を行うとともに、球戯場・便所の改修も計画的に行っていきます。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00428)

事務事業名称	みどりを育てる				款	05	項	04	目	02	事業	001	整理番号	438	
現担当課名	みどり公園課		係名	みどりの計画係		連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	437					
上位施策No・施策名	08 水とみどりのネットワークの形成								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和48年度	実行計画事業	目標	03	施策	08	計画事業	03	05						
令和 2年度担当課名	みどり公園課								事業評価区分	一般					

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	<p>带状のみどり空間を創出する活動主体、みどりに関心のある個人、屋敷林所有者、みどりの協定締結者、みどりのボランティアに関心のある人、農地の所有者、公園利用者、公園ボランティア団体</p>	<p>根拠法令等</p> <p>(1) 杉並区みどりの条例、杉並区みどりの条例施行規則</p> <p>(2) すぎなみ公園育て組実施要綱</p>
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	<p>地域緑化に関する普及啓発事業の推進を通して、区民等の緑化意識の醸成を図る。 公園等における地域住民ボランティア活動により、安心・安全の向上と快適で魅力あるみどり環境の創出を目指す。</p>	<p>活動指標</p> <p>指標名 (1) みどりの新聞の発行部数</p> <p>指標説明</p> <p>指標名 (2) みどりの講座・イベントの開催数</p>
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	<p>緑化に関する印刷物の発行やみどりのボランティアの育成、みどりに関する講座の開催等を行う。 公園ボランティア活動支援として、活動に必要な資器材や情報の提供と技術支援を行う。</p>	<p>指標説明</p> <p>成果指標</p> <p>指標名 (1) 緑被率 (平成29年度調査)</p> <p>指標説明</p> <p>指標名 (2) 30年度の実績値はみどりの実態調査における29年度実績値 (5年ごと)</p> <p>指標名 (2) 公園のボランティア組織率</p> <p>指標説明</p> <p>ボランティアが入る公園数 ÷ 全公園数 一公園に複数団体が存在しても1として扱う。</p>

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 部	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	34,600	100.0	87.6	
活動指標 (2)	2 回	4	4	3	4	3	4	75.0		
成果指標 (1)	3 %	21.77	23	21.77	25	21.77	25	87.1		
成果指標 (2)	4 %	32.10	100	32.20	100	31.51	100	31.5		
事業費	5 千円	20,552	18,289	15,777	18,653	16,341	18,144	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	5,719	1,843	856	5,060	4,241	1,822			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	7.37	6.57	6.90	6.65	7.09	6.30		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.30	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	57,708	52,285	55,934	53,755	56,691	51,053		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	1,088	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	78,260	70,574	71,711	72,408	74,120	69,197			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	2,236	2,016	2,049	2,069	2,118	2,000			
財源	受益者負担分	14 千円	134	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	134	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	78,126	70,574	71,711	72,408	74,120	69,197			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 438

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	花咲かせ隊公園花壇管理資材の給付	2	回	0
	みどりの新聞「みどりとひと」の発行	35,000	部	1,437
	緑化副読本(みどりとわたしたち)の発行	4,200	部	1,201
	公園育て組資材の給付	48	団体	0
	その他（みどりのボランティア支援、みどりの講座の開催）			13,703
事業実績	<p>花咲かせ隊、公園育て組は公園管理の一部を、みどりのボランティア杉並は公園や市民緑地などの維持管理の一部を行い、その活動によって多くの人に良好なみどり環境を提供しました。</p> <p>みどりの新聞を年2回各17500部発行し、公園でのボランティア活動や街中で見かける植物の紹介などについて情報を発信しました。あわせて小学5年生向けに緑化副読本を4200部発行し、みどりの役割や学校で見られる樹木などを紹介し、みどりへの関心を高めることに寄与しました。</p>			

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>区内の緑の状況は、緑被率が昭和47年より急激な宅地化等によって平成9年まで減少を続けましたが、平成14年以降、増加しています。平成29年度のみどりの実態調査の結果では、21.77%とわずかに減少しましたが、引き続き緑化計画等により緑被率の増加を目指します。</p> <p>【緑被率推移】 24.02%（昭和47年度）、21.56%（昭和52年度）、20.84%（昭和57年度）、19.90%（昭和62年度）、18.97%（平成4年度）、17.59%（平成9年度）、20.91%（平成14年度）、21.84%（平成19年度）、22.17%（平成24年度）、21.77%（平成29年度）</p> <p>また、公園等の面積は20.9ha（昭和50年）から65.7ha（令和3年）に増加しています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>屋敷林や農地の減少に歯止めがかからない中で、公園や緑地の整備、公共施設の緑化のほか民有のみどりを守り育てていく取組が重要となります。ボランティアや行政による屋敷林、農地所有者への支援のほか、みどりの普及啓発を幅広く行い、区民共通の資産としてみどりが位置付けられるような取組を行っていきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>みどりを守り育てるためには、屋敷林や農地など身近にあるみどりの効用や必要性を幅広く区民に周知し理解してもらう必要があります。みどりの新聞は年2回各17500部発行し町会の回覧版に掲載することで広く周知しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言発出に伴いみどりのイベントは開催を見合わせましたが、ほかみどりの講座や落ち葉感謝祭などのイベントを通じ、みどりに関心を持つ区民を増やすことに寄与しました。</p>
評価と課題	<p>花咲かせ隊や公園育て組、みどりのボランティア杉並は公園の清掃や花壇の維持管理などの活動によって、きれいで利用しやすい公園等を維持するのに欠かせない存在となっています。しかし、活動する区民の高齢化等で団体数の減少が懸念されており、新たにボランティア活動をする人を育てていく取組が必要となります。</p> <p>一方、屋敷林・農地については、その減少が危惧されます。杉並区緑地保全方針や今後改定を検討するみどりの基本計画において先進的な取組を行うことで、みどりの量的な底上げと質の向上を図ります。</p>

令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	杉並区みどりの条例に基づき着実に緑被率の増加を目指します。	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00429)

事務事業名称	みどりを創る				款	05	項	04	目	02	事業	002	整理番号	439	
現担当課名	みどり公園課		係名	みどりの事業係		連絡先電話番号	3595		昨年度整理番号	438					
上位施策No・施策名	08 水とみどりのネットワークの形成								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和48年度	実行計画事業	目標	03	施策	08	計画事業	03							
令和 2年度担当課名	みどり公園課								事業評価区分	一般					

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	緑化の助成 (個人、事業者) 緑化計画 (個人、事業者) 公共施設の樹木管理 (区立学校、区立施設) 寄付樹木 (個人、事業者)	根拠法令等 (1) 杉並区みどりの条例、杉並区みどりの条例施行規則 (2) 杉並区接道部緑化助成要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	道路に接した部分を緑化したり、建物の屋上や壁をみどりで覆うことにより、安全でみどり豊かなまちなみ環境を創る。 緑化計画書で一定基準のみどりを設けてもらうことで、まち全体の緑地を確保する。	活動指標 指標名 (1) 接道部緑化助成延長 指標説明 指標名 (2) 緑化計画の受理件数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	個人の建物の屋上・壁面に緑化をする時や、道路に接した部分に生けがきなどを作る時の費用の一部を助成する。 区内で開発・建築行為等を行う業者と区民に緑化計画書を提出 (接道部緑化、緑地の確保、高木中木低木の本数の確保) するよう義務付け指導する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 接道部緑化助成率 指標説明 整備延長 ÷ 整備計画延長 (350m) 指標名 (2) 計画緑地面積達成率 指標説明 計画緑地面積 ÷ 基準緑地面積

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 m	162	350	290	350	134	350	38.3	93.5	
活動指標 (2)	2 件	1,847	1,800	1,893	1,800	1,958	1,800	108.8		
成果指標 (1)	3 %	46	100	83	100	38	100	38.0		
成果指標 (2)	4 %	111	100	116	100	109	100	109.0		
事業費	5 千円	101,633	108,986	103,718	114,440	107,025	113,551	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	98,480	100,024	99,553	106,070	105,007	108,792			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	5.99	6.07	6.60	6.20	6.50	5.20		
	上記以外の職員	9 人	1.38	0.90	0.90	0.90	1.10	1.50		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	48,276	46,475	51,842	45,612	48,439	38,464		
	上記以外の職員	11 千円	4,263	2,780	2,772	2,772	3,991	5,442		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	154,172	158,241	158,332	162,824	159,455	157,457			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	951,679	452,117	545,972	465,211	1,189,963	449,877			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	154,172	158,241	158,332	162,824	159,455	157,457			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 439

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	公共施設の樹木維持管理委託	220	箇所	101,774
	寄付樹木の受領	11	本	1,993
	接道部緑化助成	15	件	1,911
	苗木の育成委託	6,700	本	1,145
	その他（緑化計画の指導・受理、みどりのリサイクルほか）			202
事業実績	<p>1,958件の緑化計画を受理しました。内訳は、建築確認申請時の敷地面積200㎡以上が699件、200㎡未満が1,259件でした。</p> <p>受理した緑化計画による計画接道部緑化延長は 5,055.8m、計画緑地面積は 42,953.03㎡、計画樹木本数 84,601本でした。</p> <p>小中学校等の公共施設の樹木剪定等の維持管理を行いました。</p>			

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>接道部緑化助成制度は、昭和53年度から緑化推進モデル地区内で始まり、昭和60年度に区内全域へ拡大しました。平成12年度には塀の撤去費も助成対象とする制度となりました。平成14年10月から屋上・壁面の緑化についても助成を開始しました。制度開始以来、助成金の増額や助成対象要件の緩和を行い緑化推進を図っていますが、ここ数年の助成実績は減少しています。2項道路の後退等助成条件が満たせず不満の声をいただくことがあります。</p> <p>緑化計画は制度は、杉並区みどりの条例に基づいて昭和49年度に施行され、平成18年度の杉並区みどりの条例の改正に伴い現在の制度となりました。この制度は区内の新たな緑地の創出に大きな役割を果たしています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>緑化計画は「みどりの創出」の大きな柱です。建築確認時に緑化計画を提出することで緑化を義務付けるので、費用対効果についても大きな成果を上げています。緑化計画の提出と完了を確実に行うことでみどりの創出に寄与しています。また、緑化助成制度を用いることで、確実な緑化を遂行します。道路から見える緑化については街並みをみどりに彩る重要な要素であるため、生けがきや植樹帯の緑化だけでなく、見えるところに緑化する助成制度の在り方についても検討し、みどり豊かな街並みを創ります。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>敷地面積に関わらず、全ての建築行為等を対象とする緑化計画制度は、減少する既存のみどりに対し、新たなみどりの創出を義務付ける、極めて重要かつ有効な制度です。指導により緑化基準を上回る計画がされています。</p> <p>緑化助成制度も同様にみどりの創出に有効な制度ですが、令和2年度は屋上・壁面緑化助成は0件、接道部緑化助成も137m、接道部緑化助成率は38%と近年の中でも特に実績が伸びませんでした。</p>
評価と課題	<p>建築行為等を行う際に建物の用途や用途地域に応じて、きめ細かな指導を行う現在の緑化計画制度は、民有地の緑化を推進し、緑被率の維持・増加に一定の効果があるといえます。接道部の緑化をはじめとする助成制度も同様に寄与しています。一方で近年は敷地の細分化により、接道部に緑地を確保することが困難となっています。まちなみのみどりが豊かに感じるような道路から目に見える緑は重要であり、有効な制度を構築していく課題があります。</p>

令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>現行の緑化計画制度は有効に機能していますが、今後も適切な緑化指導を行い、緑地の確保に努めます。</p> <p>緑化助成については、緑化計画のパンフレット等による制度の周知等や使いやすい助成制度の在り方について検討し、緑地の確保等実績の向上を図ります。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00430)

事務事業名称	みどりを守る				款	05	項	04	目	02	事業	003	整理番号	440	
現担当課名	みどり公園課		係名	みどりの事業係		連絡先電話番号	3595		昨年度整理番号	439					
上位施策No・施策名	08 水とみどりのネットワークの形成								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和48年度	実行計画事業	目標	03	施策	08	計画事業	02							
令和 2年度担当課名	みどり公園課								事業評価区分	一般					

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	保護樹木等の補助：個人、事業者 農業従事者	根拠法令等 (1) (2)	杉並区みどりの条例、杉並区みどりの条例施行規則 生産緑地法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	大きな樹木や樹林を所有者の同意のもと指定し保護していく。特に未来に残したい巨木や珍木については貴重木として指定し手厚く保全する。 生産緑地地区の指定により良好な都市環境の維持・形成に資する農地を保全する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	貴重木指定本数 保護樹木指定本数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	一定基準以上の樹木、樹林、生けがきについて、所有者の申し出により保護指定を行い、倒木事故等に対応する損害保険の加入、所有者の維持管理費の負担軽減のための補助金交付を行い、みどりの保護に努める。 生産緑地の指定により30年間は原則生産緑地を解除 (買取り申出) することができない。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	貴重木保全率 貴重木指定本数 ÷ 貴重木保全計画本数 保護樹木継続率 今年度樹木数 ÷ 前年度樹木本数

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 本	78	100	77	100	74	100	74.0	81.7
活動指標 (2)	2 m ²	1,491	1,750	1,463	1,750	1,442	1,750	82.4	
成果指標 (1)	3 %	78	100	77	100	74	100	74.0	
成果指標 (2)	4 %	97	100	98	100	99	100	99.0	
事業費	5 千円	41,804	55,403	41,953	48,205	39,382	44,763	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	1,003	0	0	0	0	0	・保護樹木の指定数量が目標に達せず、補助金の支出が減少しました。	
(内) 委託費	7 千円	13,931	18,509	14,943	16,286	13,383	15,685		
職員数	8 人	5.96	5.52	5.71	5.35	5.86	5.05		
上記以外の職員	9 人	0.19	0.10	0.10	0.10	0.30	0.50		
人件費	10 千円	46,826	43,837	46,995	42,421	45,693	40,064		
上記以外の職員	11 千円	587	309	308	308	1,088	1,814		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	89,217	99,549	89,256	90,934	86,163	86,641		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	1,130,949	995,490	1,159,169	909,340	1,164,365	866,410		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	89,217	99,549	89,256	90,934	86,163	86,641		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 440

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	樹木・樹林・生けがき・貴重木の保護指定補助	662	件	28,597
	区営苗圃の維持管理	3,816	m ²	6,393
	市民緑地の維持管理	3	所	3,632
	生産緑地地区標識撤去・設置	8	所	468
	その他（生き物生息場所の保全）			292
事業実績	<p>保護樹木34本、保護生けがき142.9mを新たに指定しました。令和2年度末現在、保護樹木1,422本、貴重木74本、保護樹林333,177.63m²、保護生けがき5,724.6mとなっています。新規指定がある反面、樹木の枯損や土地の売却の影響で解除もあり、全体として減少しています。生産緑地は新規指定 3箇所3,100m²、追加指定 3箇所2,630m²、削除（地区の全部）2箇所2,000m²、（地区の一部）3箇所4,460m²、結果計125箇所316,000m²となりました。</p>			

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>区内に残されたみどりを保全するために、規則で定める基準の樹木等を所有者の同意を得て保護樹木等として指定しています。これは杉並区みどりの条例が施行された当初から柱となる制度で、保護指定することで貴重なみどりを将来にわたり保全するための制度です。しかし、近年は宅地化による周囲の状況の変化等もあり、大きな樹木を維持管理することが難しくなっており、保護指定された樹木等の減少傾向が続いています。</p> <p>多くの生産緑地が令和4年（2022年）に指定から30年を迎え、順次解除（買取申し出）が可能となります。引き続き税制優遇措置を受けるためには特定生産緑地制度へ移行する手続きが必要です。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>相続等による敷地の細分化や高齢化による維持管理の負担等により、大きな樹木やまとまったみどりの減少傾向は今後も続くと思われます。それに対し、建築行為に伴い植栽される新たなみどりによってみどりの更新が図られています。</p> <p>多くの生産緑地は令和4年（2022年）に指定から30年を迎えるため、所有者は、生産緑地を解除（買取申し出）するか、引き続き税制優遇措置を受けられる特定生産緑地制度へ移行するかを選ぶこととなります。生産緑地を解除し、農業が継続されない土地は今後10年以内の宅地化が予想されます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>日照問題や隣地等への落ち葉など、大きな樹木を取り巻く環境は厳しくなっています。貴重木も含め、解除樹木数に対し新規指定する本数が少なく、実績は伸びていません。一方、維持管理費の支援や賠償責任保険の加入などが所有者の負担を軽減し、看板による周知と合わせ減少を抑制する効果があります。</p> <p>令和4年に指定から30年を迎える生産緑地のうち約半数は特定生産緑地に指定が完了しています。残り半数についても継続意思を確認の上指定手続きを進める必要があります。一方で主たる従事者の高齢化による故障や相続が発生し、指定から30年を迎える前であっても生産緑地の解除が相次いでいます。</p>
評価と課題	<p>これまで杉並区が実施してきたみどりの保全・創出の様々な制度により、相続や開発などの建築等で失うみどりはあるものの、区内の緑被率の動向を見ても、みどりの減少を抑えるなど一定の効果が認められます。保護樹木等指定制度の支援制度や賠償責任保険の加入などの所有者に寄り添う制度は一定の評価があります。しかし、保護樹木の剪定費用などは高額であるため、剪定を保留したために樹木が大きくなり近隣に迷惑をかけるなど支援の在り方については検討が必要です。</p> <p>令和4年に解除が可能となる多くの生産緑地を特定生産緑地制度に移行させ、引き続き都市農地として確保していきます。きめ細やかな説明を行い、継続意思を確認の上、指定手続きを進めることが必要です。</p>

令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>保護指定制度は、適宜指定状況の確認を行い、適正な制度運用を図っていきます。また、みどりの保全に寄与する制度も活用し効率的かつ効果的にみどりの保全に努めてまいります。生産緑地については、特定生産緑地移行のための事務手続きを継続して行っていきます。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00431)

事務事業名称	みどりの基金				款	05	項	04	目	02	事業	004	整理番号	441
現担当課名	みどり公園課		係名	みどりの計画係			連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	440			
上位施策No・施策名	08 水とみどりのネットワークの形成								予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成14年度	実行計画事業	目標	03	施策	08	計画事業	04						
令和 2年度担当課名	みどり公園課								事業評価区分	一般				

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	基金に寄附を寄せる個人、団体、事業者	根拠法令等	(1) 杉並区みどりの基金条例 (2) 杉並区みどりの基金運営要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	当面、積立額5億円を目標とする。	活動指標	基金寄附件数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区内のみどりの保全に関する事業の財源に充てるため、区民、事業者及び区が協働して寄附を募る。荻外荘の復原・整備 (仮称) 荻外荘公園の整備)に関する事業の財源に充てるため、この事業に賛同する区内外の個人・法人から寄附を募る。	指標名 (1)	継続寄附団体等数
		指標名 (2)	過去5年以内に2回以上の寄附があり、該当年度に寄附のあった団体数
		成果指標	年間寄附等総額
		指標名 (1)	継続寄附団体等による寄附等総額
		指標名 (2)	過去5年以内に2回以上の寄附があり、該当年度に寄附のあった団体の寄附総額

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 件	126	150	100	150	127	150	84.7	98.5	
活動指標 (2)	2 団体	13	10	11	10	3	10	30.0		
成果指標 (1)	3 千円	4,387	5,000	18,233	5,000	5,875	10,000	117.5		
成果指標 (2)	4 千円	178	500	185	500	39	500	7.8		
事業費	5 千円	4,498	19,246	18,310	6,107	6,016	5,177	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	28	42	30	42	13	42			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.20	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	1,685	2,107	2,180	2,180	2,126	2,126		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	6,183	21,353	20,490	8,287	8,142	7,303			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	49,071	142,353	204,900	55,247	64,110	48,687			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	6,183	21,353	20,490	8,287	8,142	7,303			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 2年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 441

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	みどりの基金積立	127	件	5,875
	みどりの基金の利子積立			13
	その他 (普及啓発用品購入ほか)			128
事業実績	<p>寄附件数127件の内訳は、みどりの保全・創出が53件、荻外荘の復原・整備が74件でした。個人、団体・法人の別では、みどりの保全・創出は、53件のうち29件が団体・法人、荻外荘の復原・整備は、74件のうち1件が団体・法人でした。荻外荘は国指定史跡で、区内外から寄附を募っているところですが、区外からの寄附は74件中28件でした。</p>			

令和 2年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	<p>みどりの保全・創出を目的に平成14年度からみどりの基金は始まりました。件数・寄附総額ともに低迷していましたが、平成27年度、用途に「区を代表する公園等の整備」を加え「荻外荘の復原・整備 ((仮称) 荻外荘公園整備) 」を掲げたこと、平成29年度からは「ふるさとチョイス」を通じたふるさと納税制度の活用を始めたことから、平成27年度以前の最高5,906千円から令和元年度には18,233千円に寄附総額を増やすことができました。荻外荘関連イベントでのアンケートによると、回答者の5割近くが寄附制度を知らなかったとの回答があり、寄附制度を知っていればもっと早く寄附をした、との声も聞かれます。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>荻外荘の復原・整備については、建物の復原工事や調度品の復原製作などに相当な費用が必要となります。工事が手予定の令和4年度が迫る中、より多くの寄附金を収集することが急務です。また、荻外荘が国指定史跡であることを踏まえると、区民にとどまらず、日本全国よりこの取組に賛同し長く愛着を持ってもらえる場となるような工夫が必要です。史跡公園公開後の寄附金の活用についても検討する必要があります。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>年間寄附等総額目標の5,000千円は達成しましたが、その他目標は達成することができませんでした。今後は寄附総額を10,000千円に増やし、寄附総額の倍増を目指すとともに、その他目標を達成することで多くの方が継続的に寄附することを拡充します。</p>
評価と課題	<p>みどりの保全・創出に係るものについては、現在、保護樹木等の損害賠償保険に充当しており、今後もみどりの恵み豊かな都市環境の形成につなげます。 国指定史跡である荻外荘の復原・整備は、区内外から広く賛同・寄附を得ながら進めていくものですが、寄附件数・総額が伸び悩んでいます。令和4年度から復原・整備工事がいよいよ着手予定であることから、寄附件数・総額の拡大が喫緊の課題です。</p>

令和 4年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>みどりの基金は、寄附をしていただくという一方通行ではなく、その用途を寄附者に報告することにより相互の関係を築き、継続した支援者となってもらうことが重要です。 荻外荘の復原・整備については、史跡公園としての整備費を令和2年9月時点で約11億5千万円と見込んでいるのに対して、現時点での寄附総額は約2,300万円にとどまっています。また、「ふるさとチョイス」を通じたふるさと納税制度を活用している状況を踏まえると、区外からの寄附は特に不十分な状況です。令和4年度から復原・整備工事がいよいよ着手予定であることから、全国展開している雑誌への記事掲載等による事業及び寄附金募集の情報発信を積極的に図っていきます。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00432)

事務事業名称	公衆便所の維持管理			款	05	項	04	目	03	事業	001	整理番号	442
現担当課名	みどり公園課		係名	管理係			連絡先電話番号	3573		昨年度整理番号	441		
上位施策No・施策名	08 水とみどりのネットワークの形成							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和28年度												
令和 2年度担当課名	みどり公園課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区立公衆便所16所	根拠法令等	(1) 杉並区公衆便所条例 (2) 地方自治法第2条第31項、281条第21項
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	公衆便所を適切に維持管理し、安全で快適な利用と周辺地域の環境衛生保持を行う。	活動指標	公衆便所数
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	定期清掃回数 (年間延べ回数)
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	公衆便所の定期的な清掃、管理及び機能を保持するための維持補修を行う。	成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 所	16	16	16	16	16	16	100.0	93.3	
活動指標 (2)	2 回	5,478	5,688	5,672	5,676	5,661	5,676	99.7		
成果指標 (1)	3									
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	22,506	29,503	28,182	24,911	23,232	25,312	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	2,231	6,513	6,141	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	18,421	25,023	24,318	20,431	19,355	21,132			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	1.16	1.07	1.05	1.25	1.10	1.00		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.12	0.00	0.10	0.10	0.50		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	8,976	8,337	8,521	9,420	8,635	7,784		
	上記以外の職員	11 千円	0	371	0	308	363	1,814		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	31,482	38,211	36,703	34,639	32,230	34,910			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	1,828,188	1,981,125	1,910,125	2,164,938	2,014,375	2,181,875			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	2,881	3,426	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	2,881	3,426	0	0	0		
	差引: 一般財源 (12-18)	19 千円	31,482	35,330	33,277	34,639	32,230	34,910		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 3年度杉並区事務事業評価表（ 2 ）

令和 2年度 事業実施状況（ D o ）

整理番号 442

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	地域別ブロック方式清掃業務委託		15	所
	公衆便所の光熱水費の支出	16	所	3,026
	公衆便所の維持補修	0	所	0
	公衆便所等の大便器洋式化改修工事	0	所	0
	その他（公衆便所の樹木管理等）			1,509
事業実績	区内16箇所に設置している公衆便所維持管理のため、日常清掃、設備の改修・修繕等を実施しました。			

令和 2年度 評価と課題（ C h e c k ）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	施設が経年劣化していく中で清潔で利用しやすい公衆便所を提供するには、日常の定期清掃や設備の修繕等では限界があり、また、バリアフリー化も課題となっています。今後、限られた予算の中で区民サービスの向上を図るため、施設の老朽度合いやバリアフリー化が急がれる公衆便所を総合的に勘察した上で、計画的に改修を行います。また、日常の維持管理面では、利用者の利便性・快適性の向上を図るため、特別清掃の実施やすべての個室にトイレトペーパーを設置するなど利用者へのサービスの充実を図っています。

令和 4年度の方針（ A c t i o n ）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	今後も、公衆便所の定期的な清掃・管理及び機能を保持するための維持補修を行っていきます。	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00433)

事務事業名称	公園緑地事務所等の管理運営			款	05	項	04	目	04	事業	001	整理番号	443
現担当課名	みどり公園課		係名	管理係			連絡先電話番号	3572		昨年度整理番号	442		
上位施策No・施策名	08 水とみどりのネットワークの形成							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和47年度												
令和 2年度担当課名	みどり公園課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	公園緑地事務所 (2 所)、公園管理事務所 (1 1 所)	根拠法令等	(1) 都市公園法、杉並区立公園条例、同条例施行規則 (2) 杉並区公園緑地事務所処務規程
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	公園緑地事務所及び公園管理事務所の管理運営を行い、公園維持管理ほか事業の事業執行を円滑にする。	活動指標	対象事務所数
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	対象管理面積 (延床面積)
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	公園緑地事務所及び公園管理事務所の施設・設備維持、事業所における業務運営を補佐する。	成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 園	13	13	13	13	13	13	100.0	91.9	
活動指標 (2)	2 m ²	7,898	7,898	7,898	7,898	7,898	7,898	100.0		
成果指標 (1)	3									
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	47,671	47,056	44,338	47,098	43,287	47,944	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	26,033	26,877	25,910	27,642	26,720	28,763			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	5.61	4.34	4.35	4.40	5.35	4.30		
	上記以外の職員	9 人	0.00	1.00	0.00	0.50	0.40	1.40		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	31,302	25,431	26,107	26,966	34,347	30,452		
	上記以外の職員	11 千円	0	3,089	0	1,540	1,451	5,079		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	78,973	75,576	70,445	75,604	79,085	83,475			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	6,074,846	5,813,538	5,418,846	5,815,692	6,083,462	6,421,154			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
	差引：一般財源 (12-18)	19 千円	78,973	75,576	70,445	75,604	79,085	83,475		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 3年度杉並区事務事業評価表（ 2 ）

令和 2年度 事業実施状況（ D o ）

整理番号 443

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	公園緑地事務所等の光熱水費の支出		11	所	11,505
	公園緑地事務所等の警備・設備保守等委託		11	所	15,085
	公園緑地事務所等の清掃		10	所	10,163
	公園緑地事務所等の通信運搬費		13	所	1,471
	その他（公園緑地事務所等の管理運営費（上記以外））			5,063	
事業実績	南・北公園緑地事務所（2所）及び公園管理事務所（11所）の維持管理を行いました。				

令和 2年度 評価と課題（ C h e c k ）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	大規模公園等の運営・管理については、管理事務所が行っておりますが、大田黒公園、桃井原っぱ公園、井草森公園、下高井戸おおぞら公園、角川庭園、塚山公園、成田西ふれあい農業公園の7園は、民間事業者による運営・管理が行われています。施設の維持管理に関しては、老朽化により設備等の修繕が増加しており、今まで以上の安全管理と計画的な施設保全が必要となっています。

令和 4年度の方針（ A c t i o n ）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	今後も公園緑地事務所等の管理は適切に行っていきます。なお、今後の管理体制に関して、（仮称）荻外荘公園の公開に向け、荻窪に立地する三庭園【（仮称）荻外荘公園、大田黒公園、角川庭園】について、一体的な管理運営方法を検討します。	